

2023年度 事業報告書

2023年4月1日～2024年3月31日

法人の名称 NPO法人ここだね

1. 事業総括

今年度も、NPO法人ここだねの理念の実現のため、フリースクールの運営事業を中心に、下記のとおり、各事業を実施してきました。

不登校児童生徒数が30万人を超過し、子どもたちとその保護者にとってフリースクールという多様な学びの場の重要度がより一層増していく中、居場所、学び場、相談の場として、ここだねができることを一つひとつ積み重ねてきました。経済的に利用料の負担の厳しい世帯への減額制度も継続しました。

市の体験学習施設スマイルが優先利用できるようになったことなど、これまでの実績をもとに、ここだねに対する市の理解も深まり、公民連携がより一層進みました。

2. 事業実施内容と成果

(1) 特定非営利活動に係る事業

① フリースクール運営事業（「フリースクールここだね」事業）

◇フリースクール運営事業

- ・内 容 学校以外の多様な学びの場での教育を希望する小中学生を対象として「フリースクールここだね」の運営を行ないました。
- ・日 時 (通常クラス) 月・水・金 9:30～14:50、火(学習クラス) 9:30～14:00
- ・場 所 逗子市の拠点および連携団体の活動場所
- ・従事者人員 スタッフ2人、ボランティア4人
- ・受益対象者 フリースクールを必要としている児童生徒
- ・活動実績 通算 年178日開校
登録児童16人、年間利用のべ1,146人

月	活動行事日(日)
4月	入学式(10)、たけのご掘り(12,17)、スマイルスポーツ(14,26)、たねもりクラス(21)、あきさわ園:玉ねぎ収穫(28)
5月	伝統工法の家見学(12)、アートセラピー(17)、釣り:葉山港(19)、スマイルスポーツ(24)、たねもりクラス(31)
6月	磯観察:浪子不動前(5)、きらくなしごと:竹の節取り、梅もぎ(9)、梅しごと(12)、海遊び:逗子海岸(16)、スマイルスポーツ(21)、アートセラピー(26)
7月	遠足:藤沢市少年の森(7)、たねもりクラス(14)、逗子プール(19)、みらい育絵本づくり(24)、キャンプ:柳島(31)
8月	キャンプ:柳島(1,2)、夏まつり(25)、逗子プール(30)
9月	スマイルスポーツ(6,22)、アートセラピー(11)、たねもりクラス(22)、釣り:葉山港(20)、あきさわ園:白菜苗つけ、下草刈り(29)
10月	遠足・ボードゲーム屋(5)、スマイルスポーツ(6,18)、アートセラピー(10)、きらくなしごと:竹刈り(13)、釣り:腰越漁港(23)、
11月	ウクレレデー(2)、釣り:腰越漁港(6)、ボードゲーム大会(9)、アートセラピー(10)、ラオスのおはなし(15)、スマイルクラス:運動祭(17)、うみにわのおはなし(22)、たねもりクラス(24)、演劇練習(随時)

12月	遠足:金沢自然公園(1)、演劇練習(随時)、スマイルクラス(8)、クリスマス会、演劇発表(22)、大掃除&ケーキづくり(25)、門松づくり(27)
1月	あきさわ園:白菜収穫(10)、キムチづくり(12)、スマイルクラス(12,26)、手芸(17)、ボードゲーム大会(18)、英語クラス(24)
2月	遠足:メンバーの個展鑑賞(5)、アートセラピー(7)、スマイルクラス(9)、手芸(14)、たねもりクラス(16)、うみにわコラボ(19)、サンドイッチパーティー(22)、きらくなしごと:竹刈り(28)
3月	遠足:道草牧場(4)、スマイルクラス(8)、たねもりクラス(13)、卒業&修了パーティー(22)

・事業の成果

今年度の新規入会は5名、退会は2名、卒業生は1名でした。

開催日の定員を100%とした場合、実際の利用率は通常クラス73.6%、学習クラス55.5%となりました。中学生と小学高学年対象の学習クラスの利用が伸びず、経営的な面で、クラス設定の再検討が必要な状況となりました。

学習クラスについては、地域の元教員のボランティアを2名お迎えし、より個別的な支援が充実しました。

体験学習施設スマイルの利用については、逗子市の理解も進み、子どものための活動に優先的に利用が可能となり、年間予約によって、より一層活動が安定しました。11月からは、スマイルで集合解散の一日利用の日を試し、継続してきました。

外拠点のたねもりの利用も定期的に行ない、「たねもりクラス」として一日杜で過ごし、ロケットストーブを利用したごはんづくりや土中環境整備も行ない、快適に過ごせる場に育っていきました。

② 学校以外の多様な学びの場を求める子どもとその家族のための相談支援事業

◇相談支援事業（「想暖室」事業、「みみじゅく」事業）

- ・内 容 学校以外の多様な学びについて、子どもの生活や進路、ご家族の悩み等について相談を受けたり、サポートを希望する子どもの学習支援や、フリースクールの見学や体験等の支援を行ないました。
- ・日 時 随時（予約制）月・水・金の 15:00～17:50
- ・場 所 逗子市の拠点
- ・従事者人員 スタッフ2人、ボランティア2人
- ・受益対象者 学校以外の多様な学びを求める子どもとその家族
- ・活動実績 利用のべ114人
(相談60人、見学32人、体験18人、学習支援4人)

・事業の成果

今年度は、前年度に比べて相談者数が半数以下であった。小学校低学年の児童の相談が増加傾向にあり、高学年や中学生の相談が減少していた。体験まで進んでいても、入会に至らないケースも複数あった。

昨年まで助成を受けて行なっていた無料学習支援を実施しなかったことと、相談対象児童が低年齢化していたことと、在籍の中学生が減少したことなどが理由に挙げられる。きょうだいケースの入会相談が多くみられた。

③ 学校以外の多様な学びの場を求める子どもとその家族と市民の交流と社会教育の推進を図るための事業

◇社会教育推進事業

- ・内 容 子どもも大人も自由に健康で幸福でいられる社会を願い、自然活動等の講座の開催をしました。
- ・活動実績
 - ①生物講座（6/5 開催、参加 11 人）
 - ②土中環境再生講座、環境整備活動（4/23, 5/28, 7/2, 8/27, 10/1, 10/29, 11/19, 1/14, 2, 25, 3/10 開催、参加 145 人）
 - ③門松づくり WS コラボ（12/27 開催、参加 20 人）
- ・事業の成果

フリースクールの子どもたちと保護者を対象にした内部の講座と、オープンにした形の講座の両方を実施しました。「土中環境再生講座」は、外拠点たねもりの環境整備を参加者と楽しみながら行ないました。子どもたちも心地よく過ごせる場づくりと自然と親しむ畑づくりを行ない、畑で取れる収穫物も子どもたちと楽しむことができました。コアメンバーのみの環境整備活動とミーティングも行ないました。

3. 補助・助成等の状況

①補助金等

- ・令和 5 年度子どもの居場所づくり推進委託事業（神奈川県教育委員会。360,400 円）
 - (1)安全安心な居場所づくり（スタッフ体制強化）、(2)相談窓口の充実（無料相談、無料学習支援）(3)学校教育の充実改善に向けた意見、提案の集約及び報告書の作成
- ・令和 5 年度ひきこもり等支援団体支援事業協力金（神奈川県青少年課。80,000 円）

原油価格・物価高騰等により、ひきこもりや不登校等で悩む方やその家族への支援活動の継続を援助するための支援金

②助成金等

- ・なし

③後援、協力、共催等

- ・逗子市の協力により、「体験学習施設スマイル」の公的利用が可能となっている。

4. 関係機関との連携

①神奈川県学校・フリースクール等連携協議会（加盟）

公的機関との連携として、神奈川県学校・フリースクール等連携協議会による不登校相談会の個別相談会（今年度は、9/30 の湘南三浦：横須賀会場に出席）で相談の場を開き、より多くの方々にフリースクールとつながる機会を提供することができました。県教育委員会や他のフリースクールと連携できたことで、地域連携と官民協働によって課題解決に取り組むことができました。

②フリースクール全国ネットワーク（会員）

フリースクール全国ネットワークでは、フリースクールにおいて子どもが安心安全な環境の中で学び育つことができ、子どもも大人も安心して関係を築くことができるように「フリースクールガイドライン」を策定し、フリースクールに関わる全ての人の権利擁護を目標としています。当法人はそのガイドラインを遵守し、ホームページに掲載し、フリースクールを利用する方々や、ボランティアに説明し、スタッフ研修にも活用しました。

③自治会

拠点のある桜山番合谷戸自治会に継続加入し、地域の方々との交流を深めました。

5. その他

- ・「Square（スクエア）」のオンライン決済システムの登録を行ない、「ここファン」（独自のクラウドファンディング）に活用しました。